

入会のご案内

会 員

防災・減災に携わる国または地方公共団体、企業、団体の方を一般会員、運営に必要な専門的な知識を有する学識経験者等を個人会員としてご入会いただいております。

会 費

会員の活動は一般会員から納められる会費により運営され、会費は部会やワーキンググループの会合や講演会の開催など必要な費用として使用されます。なお、個人会員及び、国または地方公共団体等の機関であって当フォーラムの運営委員会が会費負担の免除を必要と判断した場合には、会費の支払いが免除されます。

入会方法

フォーラムの目的に賛同いただける団体及び学識経験者等の個人の方は、下記のURLから入会申込書をダウンロードいただき、事務局までお送りください。入会の承認を受けた後に会員となります。

▶ <https://ictfss.nict.go.jp/member.html>

メリッ

■会員の活動紹介の場

フォーラムが開催するシンポジウムやイベント会場において展示ブースの設置やパンフレット等の配布を行い、会員内外へのアプローチおよびアピールの場を提供。

■会員向け情報提供サービス

安心・安全に係る政府等の動向や、研究助成金および競争的資金等の公募情報や講演会情報を提供。

■会員企業と研究者との意見交換

委託研究などの外部資金を戦略的に獲得するための一助として、会員企業と研究者との意見交換の場を提供。

■ワーキンググループ、技術検討会

ワーキンググループへの参加により、関連省庁、学術機関等の幅広い情報交換や人脈の構築を支援。

産学官の幅広い関係者を結集し、安心して安全な社会の構築へ貢献

次世代安心・安全ICTフォーラム

ICT Forum for Security and Safety



お問い合わせ

次世代安心・安全ICTフォーラム事務局

〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1
国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所内
TEL : 042-327-6696 FAX : 042-327-7597
E-mail : ictfss@ml.nict.go.jp URL : <https://ictfss.nict.go.jp/>

<https://ictfss.nict.go.jp>



ごあいさつ

次世代安心・安全 ICT フォーラム会長
松島 裕一（早稲田大学）



安心・安全 ICT 技術の発展・普及を加速推進するために

近年わが国では、社会の高度化、利便性の向上が進展する一方、それらに伴う社会の脆弱性が指摘されています。さらに、少子高齢化社会が進みつつある中、災害等の脅威の中でも国民一人一人が安心・安全に暮らすことのできる社会の構築が求められています。

情報通信技術（ICT）は災害・危機管理のための基盤構築に不可欠な技術であり、とりわけ災害時にも安心して利用できる情報伝達手段の確保、また、災害関連情報を確実に収集して個人個人に確実・迅速に伝達するシステムの構築は、わが国の防災・減災分野における喫緊の課題となっています。

2007年6月に設立されました「次世代安心・安全 ICT フォーラム」は、センシング技術から情報処理・通信技術にわたる広範囲の ICT を駆使した先進的な安心・安全 ICT 技術の発展・普及を産学官連携の下で加速推進するための組織として、設立以来、多くの有識者、産業界あるいは行政、公的機関等の皆様のご賛同を得つつ活動しています。

今後とも、各方面との交流を深めつつ、本フォーラムを発展させて参りたいと存じますので、一層のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

設立の趣旨

地震、竜巻、津波などの甚大な被害をもたらす自然災害が頻発し、これらによる被害を予測・軽減するための通信技術分野やセンシング技術分野における新しい

テクノロジーへの要求と、それらを効果的に活用することにより安心・安全な社会を実現していくことが強く求められている中、産学官の幅広い関係者を結集し、災害情報通信システムの研究開発・実証実験・標準化等を戦略的に推進し、安心・安全なコピキタスネット社会を実現するための研究開発推進母体として、平成19年6月26日に設立いたしました。

ICTFSS
次世代安心・安全
ICTフォーラム



センシング技術
情報処理技術
通信技術

シンポジウム
ワークショップ
実証実験
など

安心で
安全な社会
の実現

おもな活動内容

- ・ワークショップ、シンポジウム等の開催
- ・各種技術展示会への出席
- ・技術の普及啓発
- ・外部の関連コンソーシアム、学会等との連携

- ・関連府省、研究機関等との連携促進
- ・標準化を狙った戦略的研究開発推進
- ・各種研究プロジェクトの支援、指導
- ・実証実験



次世代安心・安全 ICT フォーラム定期総会



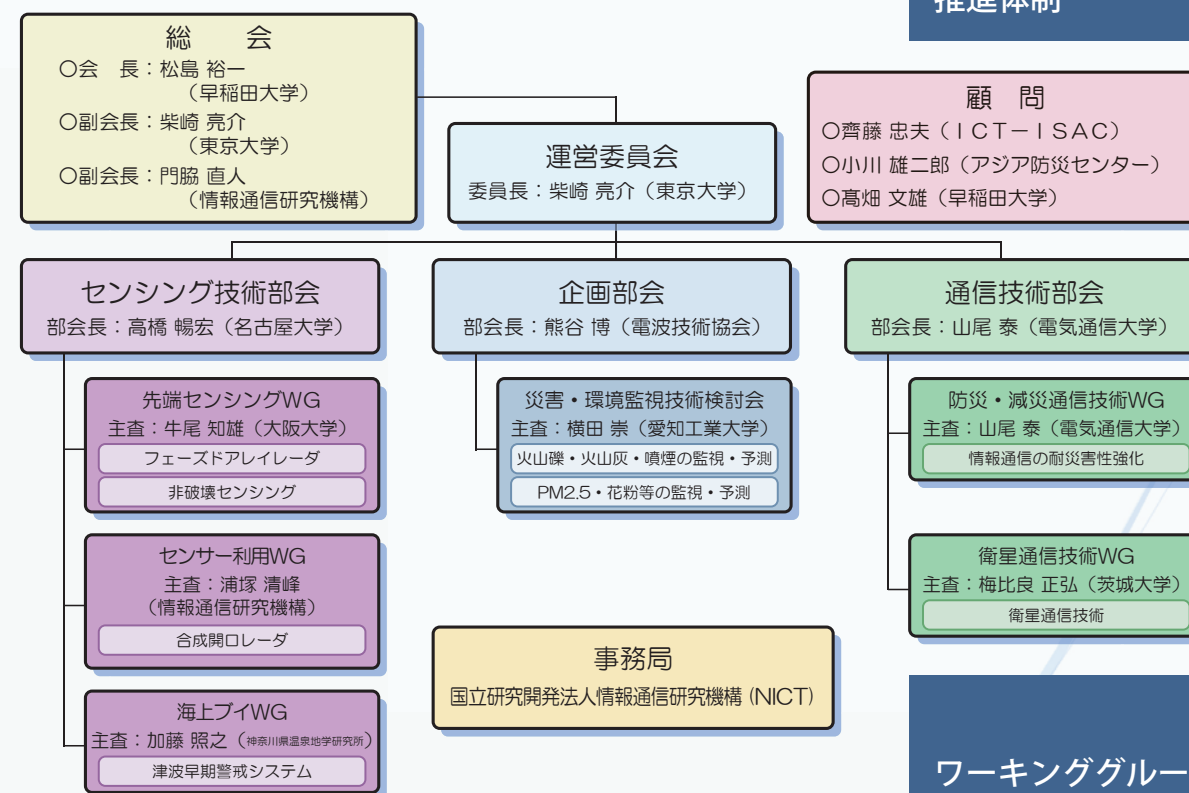
災害・危機管理 ICT シンポジウム



講演会場における会員の活動紹介パネル

ICT Forum for Security and Safety

推進体制



ワーキンググループ 技術検討会の活動

センシング技術部会

■先端センシングワーキンググループ
技術的に最先端・先駆的なセンサーについて、その利用や今後の技術開発などについて検討・調査などを行います。

■センサー利用ワーキンググループ
センサー技術の利活用、普及、産業化フェーズを検討するとともに、利用・普及の阻害要因などを調査検討し、今後の利活用の方策を検討します。

■海上ブイワーキンググループ
沖合100 km超の海上ブイに設置したセンサーを用いた、測位や応用技術の開発と、ブイからのデータのリアルタイム通信の可能性を検討します。

通信技術部会

■防災・減災通信技術ワーキンググループ
ユーザーとICT開発者のコラボレーションのもと、ICTの研究開発の最先端と災害現場の最先端をつなぎ、真に実用的な防災・減災ICTの技術検討、社会還元を促進するための調査、検討を行います。

■衛星通信技術ワーキンググループ
災害時における災害対策機関通信や、住民との間の情報伝達において、広域性、同報性、耐災害性などの特徴を持つ衛星通信をどのように活用すべきか、またそのための研究開発をどのように進めてゆくの調査、検討を行います。

企画部会

■災害・環境監視技術検討会
火山防災におけるセンサー技術の活用に関する研究者を結集し、火山礫・火山灰・噴煙の監視・予測法を検討と、PM2.5や花粉等の監視・予測法の検討を行います。

